

KES 登録事業所訪問記 vol. 3

親和興業

主な業務内容：水道工事
リフォーム工事

KES 登録日：2009 年 1 月 1 日

今回おじゃましたのは、私たちの事務所が一番近い、鹿児島市冷水町にある親和興業さんです。5 月 20 日の昼下がり、初めての女性の社長さんへのインタビューでワクワク・ドキドキ。



運命のひと言？

KES を始められたきっかけは、管工事組合の KES を実践されている事業所の社長さんから勧められたことだそうです。当時、ゴミ・経費削減に取り組もうとしていたこともあって、KES への第一歩を踏み出されたそうです。「KES をやってみたら？」は『何かが変わる運命のひと言』だったのかもしれませんがね。

階段を一段ずつ

KES を始めた当初は、教育に苦労されたそうです。ゴミの分別を手始めに、これからも取り組みを充実させる計画だとか。ゴミの持ち帰りを提案し、事業所からゴミ箱を撤去したり、月 2 回のゴミ拾いの奉仕作業を行うことによって、『全員参画型の KES』が少しずつ浸透してきつつあるそうです。一段ずつ階段を上るように目標に近づいています。

また、仕事から工具や資材が雑然と広がる環境になりがちですが、『定位置管理』を徹底することで、仕事の効率アップを目指していらっしゃいます。『定位置管理』のポイントは、情報の共有化。誰でも「どこに何がある」かを知っている。なるほど、我が家でも即実践いたします。

紙と車

これから取り組みたい事として、『紙と車』の見直しをあげていらっしゃいました。

文書を整理してデータ化すること。FAX で届いた文書は、一度パソコンの画面で見ながら必要なものをプリントアウトすること。そうすることによって紙の使用枚数を抑えようとされています。また社用車の清掃からガソリン使用量までを責任をもって管理する、社用車担当制の導入も検討されています。

新しいステージへ

水まわりの工事を請負う際、お客様の中には、必ずしも現在の住環境に満足されている方ばかりではありません。そんな方々のお話を聞いているうちに、リフォーム部門の立ち上げの必要性を感じたそうです。その名も『夢姫』。このネーミング、女心をくすぐりますよね。自宅をリフォーム展示場としてだけでなく、レンタルルームとして開放し、料理教室やイベントも開催されています。取材におじゃました日も、女性グループによるアロマの勉強会が開かれていました。

この場所を、単なる展示場としてではなく、人と人とのつながりを深める場所にしたいとおっしゃいます。そして、地域活性化の拠点としての役割を果たしたいとも。ここに集う人々が相互にコミュニケーションを深め、ネットワークの輪を広げる...その傍らには素敵なキッチンにウッドデッキ♪まさに夢の空間です。

新規事業に乗り出すためのエネルギーは相当のものだったと思いますが、ふんわりした印象からは想像できません。でもお話を聞いていると、強い意志と柔軟な発想力は、色々な体験・経験から生まれたものだと感じました。

チャレンジを続ける姿は、同じ女性としてお手本にしたいです。



本社のお隣『夢姫』展示場になっています



卵焼きでもおしゃれに見えるかも？素敵なキッチン

エコと自然

仕事をする上で、「これだけは外せない」観点は、エコと自然だそうです。その思いは KES を始めてから、一層深まったとか。最近では、お客様のエコ商品への反応がよく、環境に対する意識の広がりを感じるそうです。

展示場の壁や天井も健康素材が使用されていました。木のぬくもりが心地よく、終始うっとり...。「リフォームでは建物はもちろん、その後の『暮らし』を重視するべき」という言葉に象徴されるように、仕事に対する情熱は、やさしい心遣いとなって常にお客様に向けられています。

やさしいお人柄は笑顔を見れば一目瞭然！ 職人さんたちを束ねる敏腕とは裏腹に、自然を感じる素敵な女性でした。

赤尾社長、素敵なお部屋で素敵なお話、ありがとうございました。お茶もとってもおいしかったです。

次は、あなたの事業所におじゃまします！



女性ならではの視点で新しい事業で活躍中の赤尾社長